

日本語とアラビア語による情報の直接交換を目指して

日本語は上から下に書きます。横書きのアラビア語とは全く違います。しかし一つの共通点があります。両方の本を机の上に並べてください。表紙はどちらも同じ面にあり、ページは右から左にめくりまわります。英語の本とは正反対です。実は中国語の本も日本語と同じ体裁です（日本語は中国語から派生したものですから当然です）。

これまで日本語の情報をアラブ世界に届けるためには、まず日本語を英語に翻訳し、その後それをさらに英語からアラビア語に翻訳しなければなりません。その逆にアラビア語の情報を日本に届けるためにも仲介役としての英語が必要でした。

私は二つの言語を直接交流させることがお互いを理解する上で重要だと考えています。ICT(Information & Communication Technology)を使えば日本語をアラビア語に直接翻訳することも可能です。現在の技術レベルでは翻訳の精度（確実性）が低いため、翻訳文をそのまま正式の文書やビジネスの文書として使うのは無理でしょう。しかし普通の市民(ordinary citizen)が発信する情報であれば、それはさほど大きな問題ではないと思われまます。

OCIN INITIATIVE は普通の日本の一市民(an ordinary citizen in Japan)がアラブ圏の普通の人々(ordinary citizens in Arab countries)に向け語りかけるホームページです。